

提供日 2019/3/28  
 タイトル 生産・出荷ともに対前月比で低下  
 静岡県鉱工業指数(平成31年1月分速報)  
 担当 経営管理部 ICT推進局統計調査課  
 連絡先 商工班  
 TEL 054-221-2240

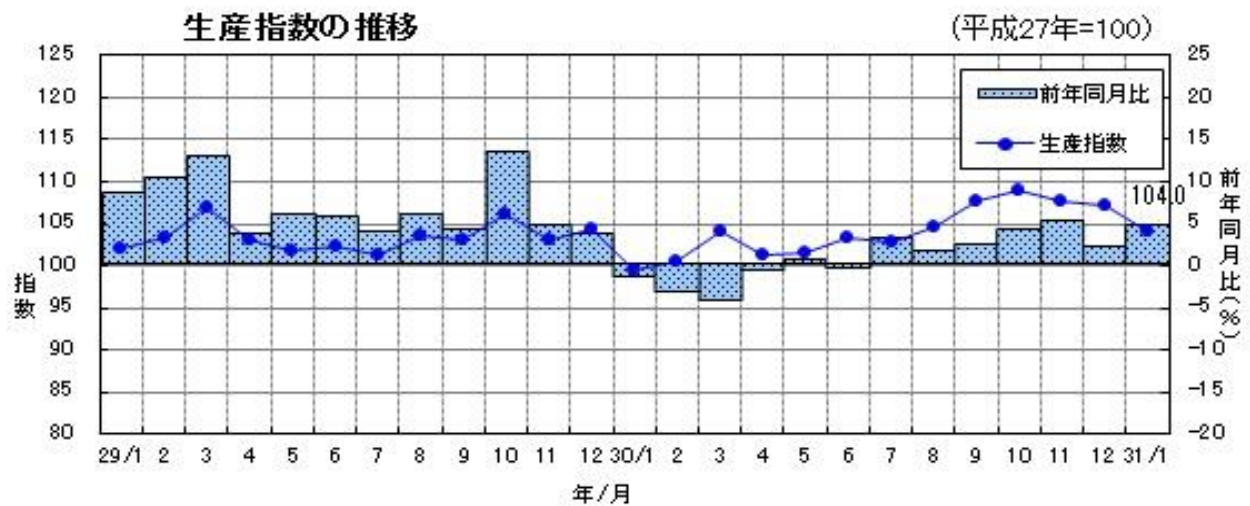


## 1 生産指数の動き

平成31年1月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成27年=100)は**104.0**となり、前月比は**2.9%減**と3か月連続して低下した。

また、**前年同月比(原指数)**は**4.6%増**と7か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、汎用・生産用・業務用機械、電気機械、食料品・たばこ等が上昇する一方、輸送機械、化学、プラスチック製品等が低下した。

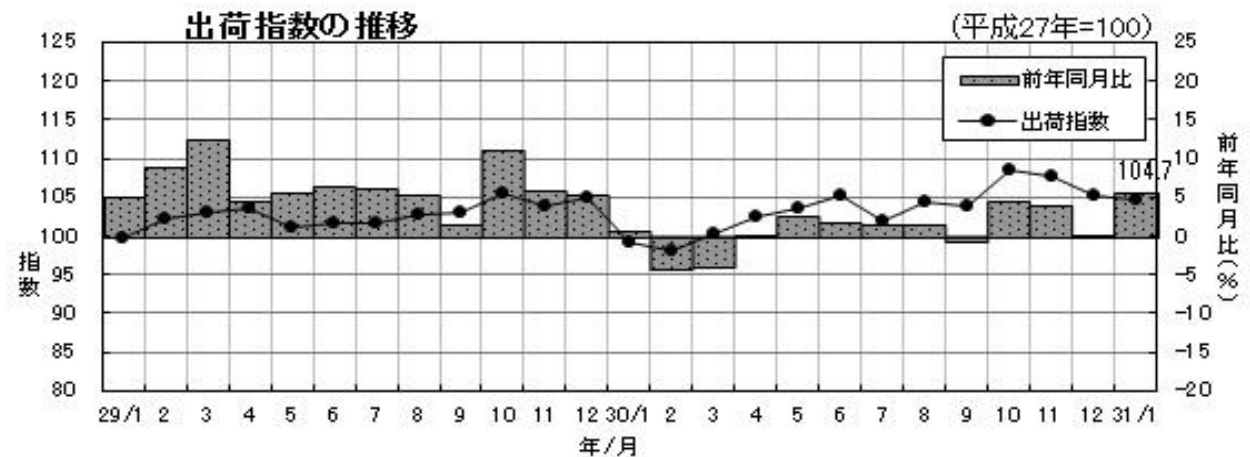


## 2 出荷指数の動き

平成31年1月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成27年=100)は**104.7**となり、前月比は**0.5%減**と3か月連続して低下した。

また、**前年同月比(原指数)**は**5.7%増**と4か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、電気機械、汎用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、輸送機械、化学、非鉄金属等が低下した。

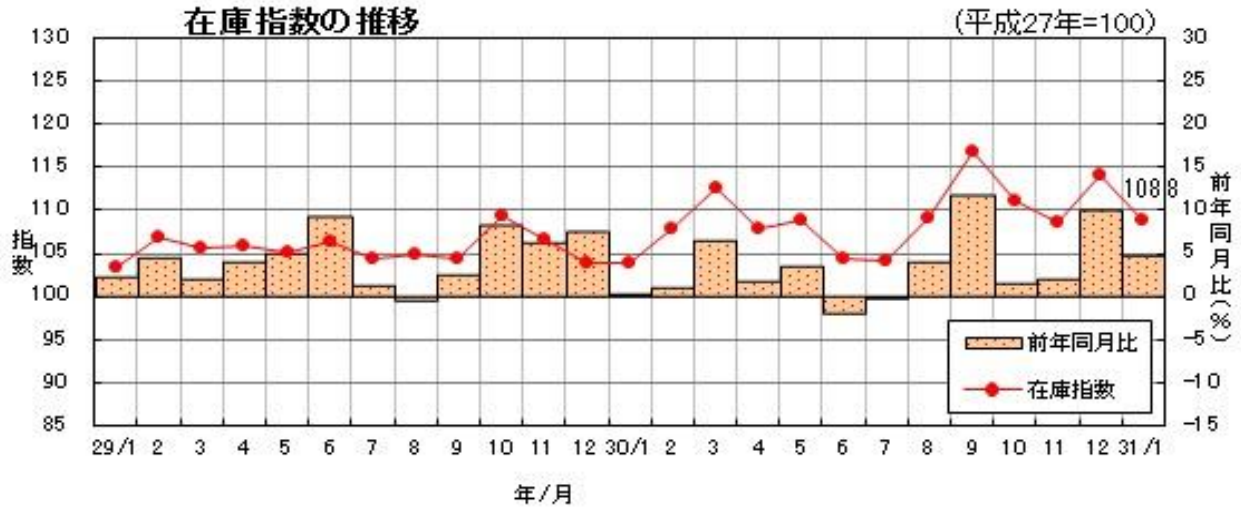


### 3 在庫指数の動き

平成 31 年 1 月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成 27 年=100)は 108.8 となり、前月比は 4.6%減と 2 か月ぶりに低下した。

また、前年同月比(原指数) 4.8%増と 6 か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、汎用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこ等が上昇する一方、化学、輸送機械、プラスチック製品等が低下した。



### 4 平成 27 年基準への改定について

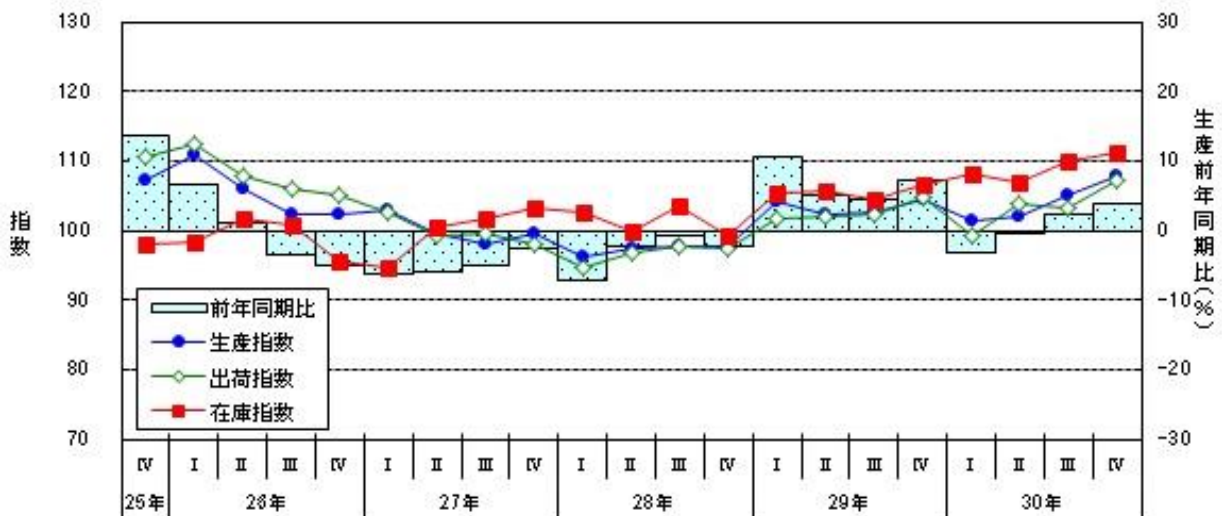
産業構造の変化等による経済実態を反映するため、5 年ごと(西暦の末尾が 0 または 5 の付く年)に鉱工業指数の基準年を更新する改定を行うこととしており、今月から平成 27 年基準への改定を行った。

詳細については別添『静岡県鉱工業指数の平成 27 年基準への改定について』参照。

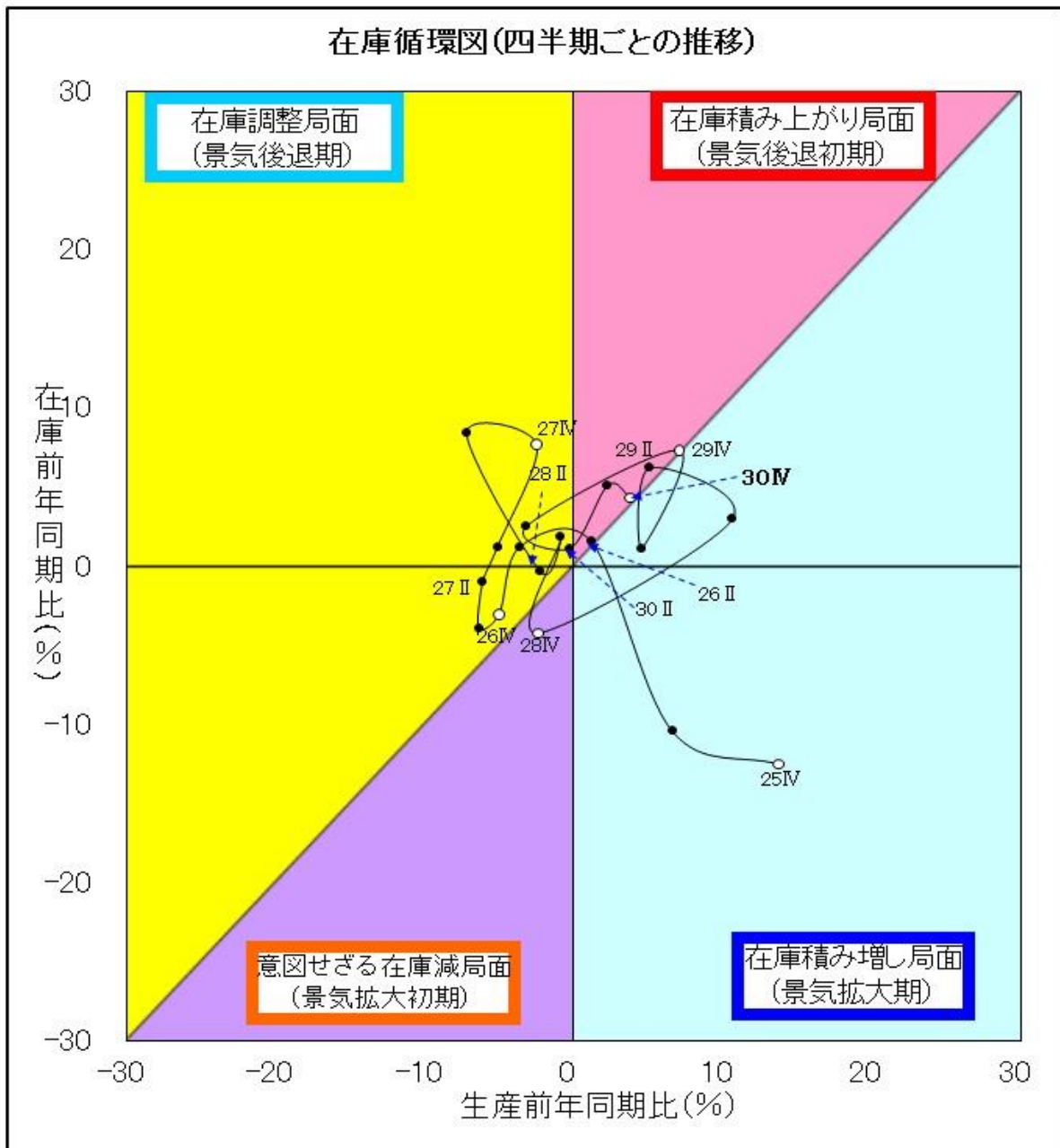
### <参考1> 四半期推移及び在庫循環図

鉱工業指数の四半期推移

(平成27年=100)



## 在庫循環



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**  
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**  
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**  
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**  
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。